

令和4年度第6回社会教育委員及び公民館運営審議会委員会議

日時：令和5年3月13日（月）午前10時00分～

場所：八幡市役所 5階 会議室5-2

出席：寛委員長（文化団体）、羽野委員（学校）、眞柄委員（人権教育団体）、藤田委員（女性団体）、高橋委員（青少年育成団体）、井上委員（PTA）、松本委員（市民公募）、金子委員（市民公募）、吉岡参事、山口（生涯学習センター）、田制課長（文化財課）、長尾課長（こども未来課）、佐野館長（図書館）

（事務局）小橋教育長、足立理事、（生涯学習課）辻課長、内田課長補佐、鳥居

欠席：藤原副委員長（スポーツ団体）

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 教育長挨拶
4. 議事

今後の行事予定

○「第六回徒然草エッセイ大賞授賞式」

日時 令和5年3月18日（土）13時30分～

場所 石清水八幡宮 清峯殿

【内容】

<事務局>

令和5年3月18日（土）に石清水八幡宮におきまして、「第六回徒然草エッセイ大賞授賞式」を開催いたします。こちらは、当初、委員の皆様にご案内をさせていただいておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止及び会場の都合上、規模を縮小しての開催となるため、委員の皆様にはご来場をご遠慮いただいております。ご了承のほど宜しく願いいたします。

次に、令和5年度社会教育事業の予定についてです。

委員の皆様にご出席いただく事業につきましては、詳細が分かり次第改めてお知らせさせていただきます。

< 寛委員長 >

山城地方社会教育委員連絡協議会の総会が6月9日に八幡市の生涯学習センターで開催を予定されているということです。我々としては地元での開催ということになりますので、皆様には色々のご尽力いただけたらと思います。

5. 議題

① 令和4年度の公民館・コミュニティセンターの事業実績と令和5年度の事業方針について

【内容】

< 生涯学習センター 山口 >

最初に令和4年度の公民館・コミュニティセンターの事業実績から報告します。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、国や京都府、八幡市新型コロナ対策本部の方針や、公民館の上部団体である全国公民館連合会が定めた「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき、3密（密閉、密集、密接）の回避、マスクの着用、手指の消毒等、感染症対策を実施しながら、施設運営及び主催事業を行いました。

令和5年、1月末現在の公民館・コミュニティセンター総利用件数は、9,533件、総利用者数が99,092人となり、前年度同期と比較して、件数では1,834件、23.8%の増、人数では24,379人、32.6%の増となりました。

前年度比では増加となっておりますが、令和元年度と比較すると総利用者数で約19%減少となっております。いまだに新型コロナウイルスの影響が残っているとみられます。

次に、令和5年1月末現在の公民館講座延参加人数でございます。

1月末現在の総件数は、67件、総回数99回、総利用者数が1,117名となりました。前年度の同時期と比較して総件数では14件の増、総回数では29回の増、総人数では303人の増となっております。

講座につきましても、感染症の影響を強く残しており、開催回数や参加人数ともに例年より減少しておりますが、感染拡大防止策の確立により、ほぼ全ての講座を開催することができました。中止した講座については、講師の方の感染等があったためということです。

次に、令和5年度の公民館等事業の基本方針（案）についてです。

来年度よりコロナの位置づけは5類に変わりますが、すでに社会のあり方は大きく変化しました。一か所に集まる機会が少なくなった現在では、人と人のつながりがより一層重要です。このことから引き続き、ともに支えあう「共生のまち やわた」の新たな担い手による地域づくりを進めるために、「つどう」、「まなぶ」、「むすぶ」、「つくる」、「さがす」という5つを基本に、次の方針で事業を進めます。

令和5年度公民館事業計画（案）の令和5年度事業方針について、来年度も引き続いて、

（1）地域住民の交流拠点として、豊かな学習空間の創出に努めます。

- (2) 市民ニーズに応じた多種多様な講座を設けます。
- (3) 環境自治体宣言都市に相応しい環境に関する講座を設けます。
- (4) 「健康」で「幸せ」を感じ、いきいきと輝き続けることをめざした「やわたスマートウェルネスシティ計画」に基づき、市民のライフスタイルに応じた健康に関する講座を設けます。
- (5) 地域の実情、課題に即した事業を展開するために、地域や市内各団体等の協力を得ながら講座を企画・実施します。
- (6) 各公民館、コミュニティセンターがある地域の特性や施設の特性を活かした講座を設けます。
- (7) 社会意識や地域意識の高揚を図る講座を設けます。
- (8) 夏休み等長期休暇に対応した子ども対象の講座を設けます。
- (9) 「ウイズコロナ」「アフターコロナ」への移行を見据えた取り組みを進めます。
- (10) 学習機会の拡充を図るため、学習情報の提供・相談を行います。

以上の事業方針に基づいて、公民館事業を進めたいと考えます。

各種講座の開設を行ない、令和4年度に申込人数が多い講座は、引き続き実施し、不人気であった講座は取りやめるなど、各館で検討します。

令和5年度の施設整備につきましては、老朽化や破損した箇所を修繕するなど、快適性や利便性の向上に取り組みます。

以上でございますので、次回会議で令和4年度事業報告書と本日のご意見を踏まえた令和5年度事業計画書を配付する予定です。皆様のご意見をいただきたいと思っております。

< 筧委員長 >

公民館まつりについて、令和5年度の方向性はこういった状況か決定している範囲で教えていただきたい。

< 生涯学習センター 山口 >

公民館まつりにつきましては、2か所で方針が決定しております。男山公民館のサークルまつりは参加を希望する団体のみで規模を縮小して、「サークルまつり」という名称ではなく「サークル発表会」という形で実施することとなりました。

山柴公民館のサークルフェスティバルにつきましては、通常どおりの実施ということで決定されております。

< 筧委員長 >

3年ほど中止が続いたので、無事に開催できればと思っております。

コロナの状況がどんどん回復していく中で高齢化により活動の継続が困難なサークルに対してどのような対応をしていくかが課題になってくると思っております。

次回に提出いただく令和5年度の方針を基にまた議論をしていきたいと思っております。

②「スキルアップ学習会」について

【内容】

<事務局>

来年度のスキルアップ学習会のテーマにつきまして、委員の皆様からご希望を伺いたいと思います。講師については、事務局でリサーチし、次回以降の会議にて決定いただきたいと思います。と存じます。

お手元に講師リストをお配りしておりますので、ご参考にいただければと思います。参考に過去の学習会の内容を報告させていただきます。

令和4年10月19日、講師、京都府社会教育委員連絡協議会会長森川知史氏、テーマは「これまでの社会教育委員の在り方、これからの社会教育委員に必要なこと」。

令和3年1月26日、講師、佛教大学教育学部教授原清治氏、テーマは「ネット社会と子どもたち」。

令和元年9月1日、講師、NPO法人京都子どもセンター副理事長竹内香織氏、テーマは「それぞれの団体を繋いでいき、活動するにはどうすれば良いか」。

平成30年7月30日、講師、龍谷大学名誉教授加藤博史氏、テーマは「ボランティア活動の活性化・継続・発展のための方策」。

以上となります。

<寛委員長>

皆さん、「こういった勉強がしたい。」等のご意見がありましたら、お聞かせいただきたいと思います。

スキルアップ学習会については、7月に開催をしたいと思っています。

<眞柄委員>

講師リストに希望の講座等はありませんが、昨日、人権推進協議会で開催された「差別」についての講座に参加し、とても良いお話しが聞けました。聞いたお話しを参考にしながら何を学びたいか考えさせていただきたい。

<金子委員>

アフターコロナが今一番の課題だと思っています。個人的なことになるが現役時代のOB会の幹事をしていて3年間なにもできていない。ようやく再開しようとしたが3年あいてしまうと「やっていくぞ。」という気持ちに中々なれない。メンタル的な疲れから、やらないことが当たり前な状況になってしまっております。コミュニケーション能力もかなり落ちていると思うので、そういった話を専門家の先生から聞きたいと思っている。

<井上委員>

人との関りがなくなりつつあって、PTAの活動も縮小傾向にある。地域のつながりがなくなると災害時に大丈夫か不安がある。私は周りに高齢者が多く住んでいるが、有事の際に知らない人に助けてもらうより、コミュニケーションをとって「あの人に助けてもらおう」と思ってもらえる関係を構築したい。そのために若い親世代に地域のつながりの大事さを知ってほしいのでそういった講座があれば良いなと思います。

< 寛委員長 >

私もPTAの経験があるが、PTAは地域のつながりの入り口になるため、大切にしていかなければいけないと思っています。

< 羽野委員 >

PTAの活動は学校にとって本当にありがたいものだと思っている。PTAは務めた方に「学校のことがわかるようになった」、「やって良かった」という声をいただき、保護者同士の横の繋がりのきっかけにもなっている。そのため、まずはやってみるということが非常に大事だと思っています。学校からの講座の希望としては、子どもを含めたアフターコロナやウィズコロナについて聞きたいです。中学生なんかは顔をお互い知らないまま卒業ということになっております。そんな中でコミュニケーションをどのようにとって、どのように「共生」していくか、「シティズンシップ」をつくっていくために人とどう関わっていくかという話しを聞きたい。また、LGBTQに関するテーマや、若い方が参加しやすいテーマが良いと思う。

< 高橋委員 >

こどもたちの事業への参加人数が減っており、地域のつながりがなくなりつつある中で、若い保護者に対し心配をしている。

今後、こどもの育成をどう行っていくかが心配なため、そういった講師のお話しも聞きたいし、コミュニケーションをテーマとした講義も聞いてみたい。

また、医療関係に長く居るため健康管理や体力づくりをテーマとしたお話しも聞いてみたいと思う。

< 藤田委員 >

高齢化が進んでいるため、高齢者向けの教育を取り入れてほしい。

アフターコロナも含め、高齢者向けの講義を色々と実施いただければ嬉しく思う。

< 松本委員 >

音楽のサークル活動を行っている。活動施設について、当初は申し込めばいつでも使えたが、最近では利用者が増え、施設の予約が中々とれない。アフターコロナで利用者が増えたからと思われる。

八幡市に遊休施設がいくつかあるが、「サークル活動センター」のような形で開放を検討していただきたい。

費用のかかる問題ではあるが、活動できる場所の確保のため、お願いをしたい。

< 寛委員長 >

色んな課題が我々にはあるが、八幡のまち全体の課題に通ずるものがある。

この場でスキルアップ学習会のテーマを決定はできないが、今いただいた意見を参考に事務局で内容や時期について案を考えていただきたい。

そして、次回の会議にて再検討したい。

6. その他

①社会教育委員及び公民館運営審議会委員の任期満了について

【内容】

< 事務局 >

令和4年度は、社会教育委員及び公民館運営審議会委員の2年任期満了時期となっております。寛委員長をはじめ3期の任期を満了される委員が複数名いらっしゃいます。現行委員での会議は次回令和5年度第1回定例会までとなります。つきましては、関係団体への委員の選出依頼及び市民公募を行いたいと思います。

< 寛委員長 >

任期が満了となる委員は私以外にどなたか。

< 事務局 >

高橋委員が任期満了となります。

< 寛委員長 >

承知しました。

皆さん、その他にご意見やご質問等はございませんでしょうか。

< 眞柄委員 >

公民館等の活用について、調理室を使ってその場で調理や飲食をすることに関しての取り扱いが5月以降どのようなものになるか。

< 生涯学習センター 山口 >

5月以降については制限を設けず、コロナ前と同様の状態で進めていく予定をしております。ただ、現在の予定であるため、変更の可能性もあります。

<眞柄委員>

調理や飲食も大丈夫という理解で宜しいでしょうか。

<生涯学習センター 山口>

はい。

<算委員長>

ありがとうございました。

議事については以上となります。

7. 委員長挨拶

～閉会～

<次回定例会>

日時：令和5年5月 日（ ） 時 分～（規定により隔月で行う）

場所：

※日程及び場所は各委員の日程を調整し、決定。